

沖繩作戰於此

獨立混成第四十四旅團第二步兵隊第一大隊史實資料

伊江島

昭和二十二年三月十五日

第三十二軍殘務整理部

2920

部隊經歷概要

昭和十九年六月二十九日

富山丸遭難事件、動員関係月日不詳

残存者五百名、于横濱宇工聯隊、編成於此地
（特回頭部名簿）

八月十五日

西部第十七部隊、於于独混呂族團第二号兵隊

要員、動員完結

十八日

西部第十七部隊出發

十八日

鹿児島縣立第一中學校、於于宿營

二十七日

二十八日

鹿児島港出帆（天信丸）

八月二十九日

大信丸火災、多々奄美大島、名瀬港、予時停港

九月一日

名瀬國民學校、宿營

二日

名瀬港出發（厦門丸）

四日

沖縄縣國頭郡、名護港、着上陸、名護國民學校及

中華中學校、校宿營

五日 改編中土師旅、第一歩兵隊、現世百集兵

十二日 以下、松尾、中島、松尾、第一歩兵隊、編成着手

編成完了

十三日 四頭那、名護、羽地地区、防衛ヲ任セラル

九月十八日 伊江島飛行場、設定、掃蕩作業、從事

七日 本部、羊島、真部山、崎本部、桃山地区、防衛ニ任セラル

十日 南中島集

十一日 桃山地区、掃蕩、真部山、連撃、背、後、高地、配備

完了、津地、掃蕩、専念ス。

十一月二十七日 伊江島連撃、命到ル

十一月一日 伊江島連撃

三日 部隊、連撃、ト共ニ以前ヨリ同島ニ連撃也、シテリタル

独立連射、砲隊、七、大隊、第二中隊、隊長、諸、兵、尉、獨立

機、関、銃、車、四、大隊、第三中隊、隊長、小川、中尉、ヲ指揮

下ニ收ム

昭和二十一年一月二十日

二月一日

二月二日

二月二日

部隊各分遣隊ヲマシヤ燈台附近(永徳少尉指揮
三十分隊)山山附近(橋本少尉指揮)ニ分隊シヤ山
原(三州)中尉指揮ニ分隊。出機(一分隊)ニ所へ出入
敵機動部隊ニ空襲

敵機動部隊ニ空襲

現地防衛官果ヨル防衛隊約九百名(伊江島へ来
島駐屯)之ト飛行場大隊部隊長田村大尉及之

井川部隊ニ三部隊ヲ以下伊江島守備隊編成セ

井川少佐伊江島地區隊長ナリ各部隊守備担当

區域ヲ決定ス即チ井川部隊ハ東飛行場ヲ合

ル以東地域日打部隊ハ飛行場地域

防衛隊ヲマシヤ山山地域一帯

此担任決定ニテリ部隊燈台山山分遣隊ヲ本隊

ニ復歸セシメ同時ニ伊江島或山東方ニ對スル陸地強化

ヲ許ス

日打飛行場部隊ニ對シ伊江島飛行場破壊並ニ

2923

三月二十三日

二十四日

本島へ引揚命令下達。井川部隊及び清波、
一部は破壊作業ヲ敢行ス。
敵沖港若狭敵艦載機伊江島来襲
甲冑戦備ヲ命令

四月一日

敵嘉平納北各方面上陸

四月十一日

本島半島へ重戦隊聯隊本部ヲ連絡途絶

四月十五日

敵伊江島上陸。多量砲射撃ヲ開始

四月十六日

敵伊江島山海岸上陸。戦闘開始セル

四月十七日

敵新波上場方面ヲ新上陸

四月十七日夜

部隊夜襲ヲ敢行

十八日拂曉

四月十八日

學校高地、攻方戦闘開始。三ヶ所、原今遺隊奮戦至碎

四月十九日

學校高地、基地消滅地、爭奪戦

四月二十日

學校高地方面對シテ總攻撃

四月二十一日

最後、突撃

四月二十一日以後終戦。至ル間、残存者ヨリ遊撃ヲ敢

戦闘経過、概要

一、戦闘経過（其、一）敵沖繩軍寇ヨリ伊江島上陸ニ至ル間

（昭和二十年三月二十三日
至四月十五日）

1、三月二十三日0700。敵艦載機編成隊ヲ以テ伊江島東寇乙号戦備發令

2、三月二十四日。敵艦載機來襲

島尻郡湊川、中城湾正面ニ敵機動艦隊出規艦砲射撃

並ニ慶長間列島上陸ノ情報ヲ聞ク

甲號戦備發令、各隊ハ直ニ配備ノ就キ警戒ヲ嚴ニス。

3、三月二十六日。一三〇〇ヨリ約四時間、互リ敵艦砲射撃ヲ伊江島飛行場

部若、海岸線一帯ニ加ヘラル。

4、三月二十七日。敵伊江島上陸、軍火ヲトテ聯隊情報アリ。大砲ハ陣地、資材

ヲ掩護整備ノ努ム。

5、四月一日。敵嘉手納北各正面ニ上陸開始

6、四月八日。敵ヨリ被伊江島東海岸ニ對スル第一中隊、第二中隊也

爆撃機一機、松岡伍長、車中一人、海軍直撃、松岡伍長以下
五名戦死す。

7、四月十日 敵上陸軍本部半島伊豆岬方面、攻撃中

8、四月十日 本部半島、重撃部隊本部、無線連絡断絶す。

9、四月十三日 一〇〇〇、敵戦艦、砲撃、伊豆岬山南側腹中、機用銃中傷

疎息、破命、中、十名、埋没、大塚本部、東方、機中隊員、撤去中

敵三機、堂園少尉以下七名ヲ救出、爾後他、此等ヲ發掘す。

三〇〇、敵及、投下爆弾、岬山南側中腹、機機陣地、直撃中、今隊長等
約二十名即死す。

10、四月十五日 早朝、伊豆島周辺、敵機三隻、合突、小三、餘、莫、敵機

遊弋シ、アリタルガ、一〇〇、噴射、伊豆島、對上、奇、猛砲撃ヲ開始、敵機、伊豆

島南海岸線一帯、飛行中、部落、岬山岸地、地區、射撃、莫、飛來、其、後

四、五、車、言語、絶ス、六〇〇、砲撃、終了、後、伊豆、部落、八、全、激墮、化、岬山

ハ、木、一、車、ヲ、止、ス、山、谷、ア、リ、タ、リ。

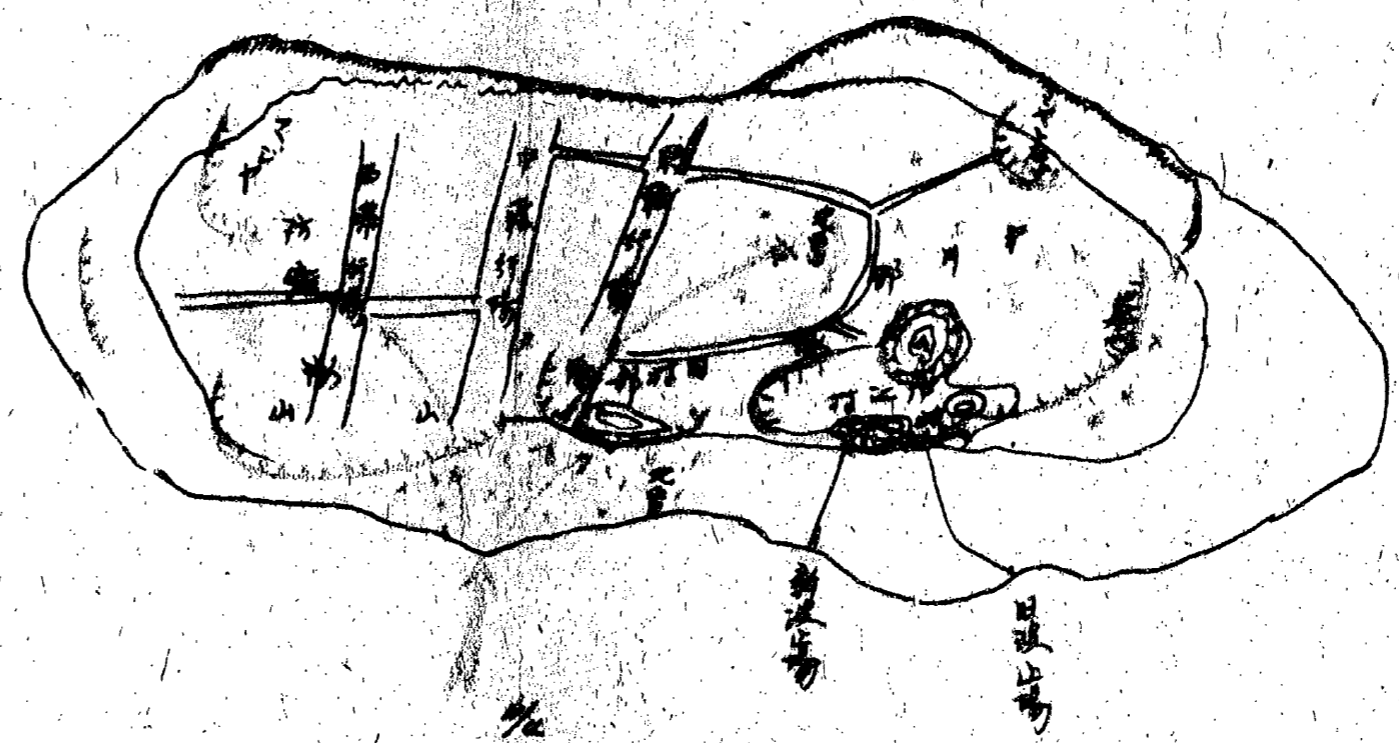
部落、地上、施設、の、損、害、被、壞、シ、タ、ル、ト、人員、擄、奪、ハ、極、テ、輕、微、ナリ

此、猛砲撃、ニ、ヨリ、敵、上、陸、向、進、セ、ト、察、シ、テ、之、ヲ、備、ル、各、種、命、令、發、ス、ル。

二、戦闘経過（其二）敵伊江島上陸以後

（昭和二十一年四月十五日以後）

図果海龍村在期闘戦
（四月十五日）
一、其図果



(一) 四月十六日

此日拂曉、伊江島、周辺に敵機、重砲、約六十隻、空襲、機銃、及び包圍
 され、前日、浸し、猛烈な砲撃、開始、
 此、掩護射撃、下、敵、拂曉、中、飛行場、南端附近、山、山、海岸、
 上、崖、開始、中、型、敵、車、十、輛、を、運、び、ス、ル、敵、一、氣、同、正、面、に、向、つ、て、
 了、り、先、日、打、撃、行、場、大、隊、及、び、防、衛、隊、陣、地、前、に、殺、到、シ、ン、一、部、は、
 夕、毛、塚、上、に、退、き、ス、ル、に、到、ル、
 飛行場、部隊、茶、田、少、尉、八、小、隊、を、率、中、に、敵、然、境、に、墜、ち、出、て、
 關、り、交、へ、全、員、壯、烈、に、戦、死、す、遂、に、

防務隊、日打部隊、爾也、各隊ハ苦戦奮闘シツ、夜入ルヲ待テ敵軍
圍ヲ脱出、斬込隊ヲ捕成テ進撃ヲ戦ハサ

功績隊二部ハ、マギニアル同部隊本部ニ集結シ、部隊長儀保中尉指揮
下ニ専ラ山々方面ヘ進撃ヲ戦ハサ

日打部隊、大部ハ同夜日打大尉以下脱出シテ進撃ヲ戦ハサ、長門シツ井川部
隊ト合流セントシテ伊江城山方面ヘ進撃ス。

一、日打部隊ヨリ下士官ノ傳令ヨリ敵上陸ノ報告ヲ受ケル井川部
八部隊ノ各隊ニ命令シテ警戒ヲ一層厳テラシメ、生死勝敗ヲ超越シテ死守
ヲ戰闘ヲ進行セシムル事ヲ要シス。

二、敵中隊戰車數輛城西西方一軒附近ニ出現シ、西連シヨル。之ヲ射テ、
我が砲連ハ的確ニ射撃ヲ加ヘ、一時ニテ三輛ヲ擱留セシム。敵軍キヤ

後退セシメシム。戰車數輛ハ我軍被シテ小機雷ヨリ大破擱留ス。

三、敵ハ水納島ニ砲六門ヲ擡渡ス。

四、上陸軍ノ詳細ヲ偵察スル爲、第一中隊橋本勇ニ少尉ヲ長ハスル將校ヲ使
月夜山々方面ヘ進撃ス。同隊後ハ敵中隊ヲ侵入シ、偵察中敵ハ包圍
シ、少尉ハ重傷ヲ受ケ、幸シク脱出シ、報告ヨリ敵ハ山々海岸

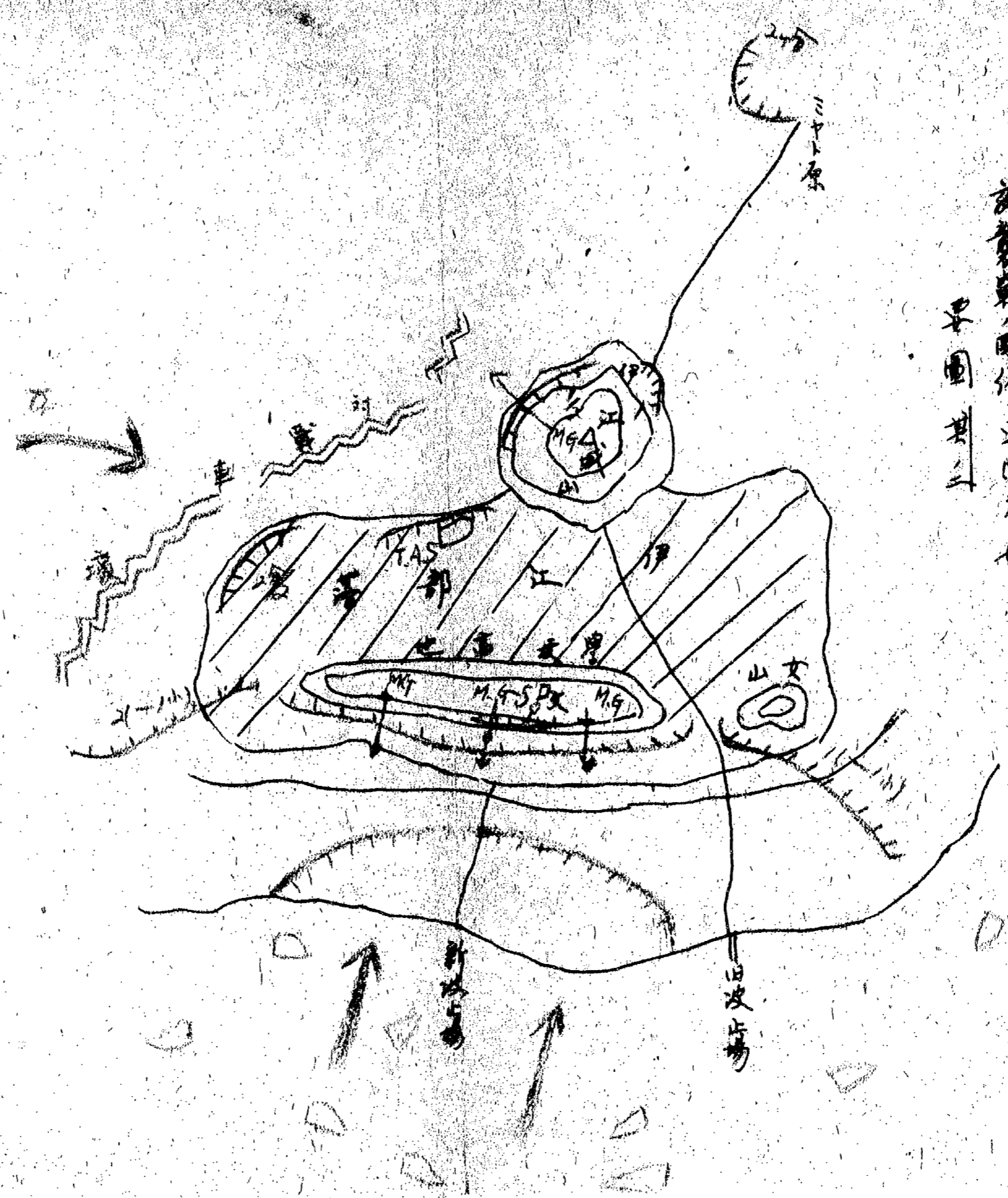
(一)
四月十七日

飛行場附近に宿営し、兵力は戦車數十輛ヲ含む約三千ナリト
若中隊四組乃至七組計約千組、新上陸編成セラレ、日暮、夜半、互リ
飛行場方面に進出シ、約千數ハ探敵ニ成テ、戦果ヲ上げ、ソノ確認セサ
ルモノ、戦車七輛ヲ捕テ、幕舎ニ破壊
本隊身共下士官、兵數名ハ曝露ヲ抱テ、戦車ト共ニ四散シ、ソノ報告アリ

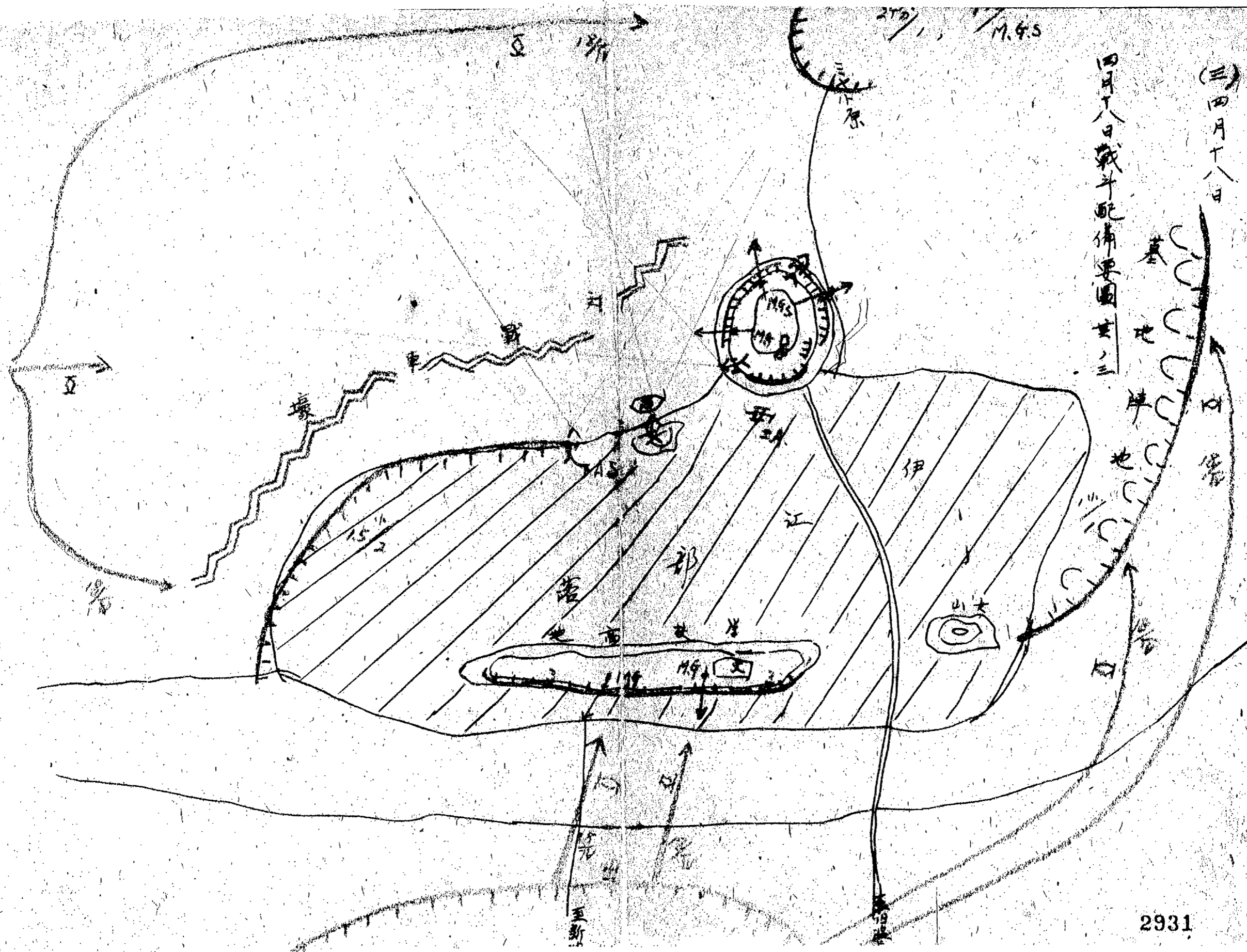
2929

- 1. 敵ハ艦砲及水納島、砲、機銃に掩護射撃下ニ、大型上陸送給
約千隻、多數、上陸用舟艇、水陸兩用戦車ヲ以テ新設波止場ヨリ
旧波止場ニ至ル南岸一帯ニ新上陸ヲ開始ス、ソノ兵力約六千新波止
場ニ飛行場改定機材ヲシキセ、ソノ揚陸ス。
- 2. 同正面守備隊、第百隊及第百一機、航中隊ハ既設陣地ニ據リ、此敵ニ
猛攻ヲ加ヘ、敵ニ多大ノ損害ヲ與フ
- 3. 第一機、航中隊長満留、中隊部下數名ト共ニ本夜水納島ニ泳ぎ渡
同島ニ上リ、敵、砲ヲ擧ゲ、七ニ中、大隊長ニ具申シ、爆雷雷並ニ浮揚
機材ヲ携行シテ進發ス。

大敵、敵、態勢未だ整然、今夜半、期半、大敵、三分、兵力、以、
 攻止場、方面、敵、討、夜襲、ヲ、敢行、之、ヲ、奪、還、ト、ス、殘、兵、ノ、兵、力、ハ、
 城、山、西、方、敵、警、戒、ニ、任、ス、
 夜襲、戦、ニ、備、要、圖、无、カ、
 早、圖、期、ニ、



各、中、隊、ハ、十八、日、頃、〇、〇、迄、ニ、攻、撃、波、備、ヲ、完了、シ、〇、〇、ヨリ、攻、撃、ヲ、開始、ス、
 我、方、主、攻、正、面、ハ、新、攻、止、場、ヲ、指、向、サ、レ、奔、襲、ニ、成、攻、シ、敵、ノ、相、當、ノ、損、害、ヲ、
 與、ヘ、タル、モ、シ、如、キ、七、時、頃、夜、ノ、為、戦、果、ノ、詳細、不、明、ナリ、
 敵、ハ、戦、車、艦、砲、迫、撃、砲、並、ニ、戦、車、ヲ、以、テ、我、方、之、攻、撃、陣、地、
 六、敵、砲、彈、集、中、シ、約、一、時、間、合、シ、テ、ソ、ノ、二、銃、ノ、破、壞、ヲ、得、テ、出、セ、
 激、烈、ハ、掃、蕩、迄、進、進、シ、タル、ガ、敵、ノ、砲、彈、飛、撃、ヲ、ニ、ヨリ、遂、ニ、攻、止、場、ハ、
 進、出、ハ、成、ラ、ス、掃、蕩、ニ、至、リ、攻、撃、ヲ、中、止、各、隊、天、々、固、有、陣、地、ヲ、利、揚、ス、



四月十八日戦斗配備要圖第三

四月十八日

2931

(三) 四月十八日 (要圖三参照)

小城山西方、敵、依然近接セズ、南、通、部、落、西、端、ヤ、中、隊、中、二、
小隊(隊長、見島小尉)正面ヲ衝カントスル能ハシ、勢ヲ取リ、又北、進、シ、テ、
戦車約十輛ヲ主トスル敵ハ、城山ヲ遠ク迂回スル如ク北海岸ヨリ北、東、進、
シ、テ、一〇〇〇、砲ヲヤ、原ニ合、造、セルヤ、中、隊、前、田、中、尉、指、揮、シ、ニ、分、隊、及、地、
盤、一、分、隊、正、面、ヲ、襲、撃、ス、中、尉、以、下、孤、軍、勇、戦、奮、闘、シ、タル、モ、強、ク、ト、
全、員、戦、死、ス。

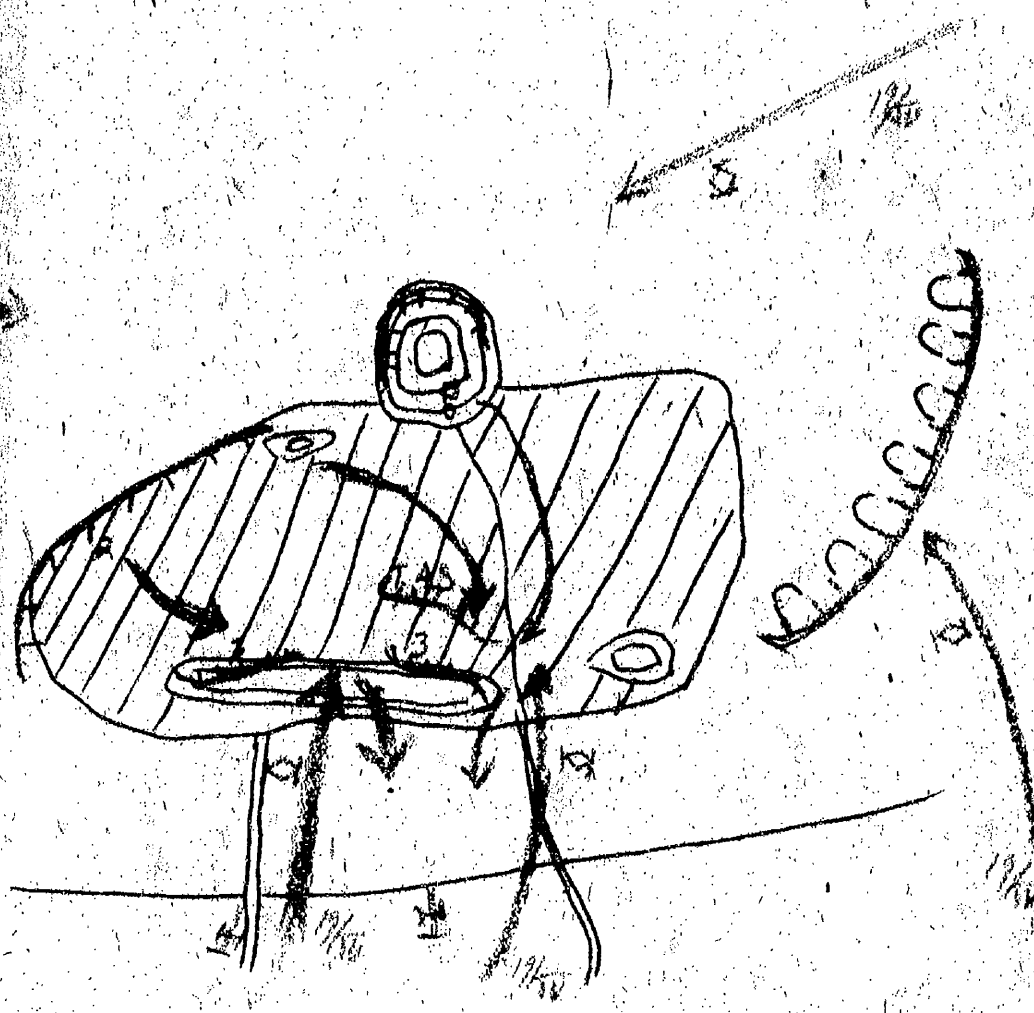
敵ハ一〇〇〇、砲ヲ我ニ射シ本隊の猛攻ヲ加ヘ来リ。即チ新設止揚方面
ノ敵、主力ハ南、リ、部、落、及、北、東、高、地、ヲ、攻、撃、シ、来、リ、ソ、ノ、主、体、
戦車約四十輛、一、分、隊、方、兵、多、数、野、砲、迫、撃、砲、ヲ、有、シ、敵、隊、
ハ、給、糧、低、空、ヲ、地、上、敵、ニ、協、力、ス。

敵、主、攻、正、面、ヲ、守、備、セ、ラ、来、良、中、尉、率、中、ル、ヤ、三、中、隊、及、中、全、員、
肉、少、尉、指、揮、ス、ル、中、一、機、関、銃、中、隊、ハ、此、困、難、中、ニ、ア、リ、終、日、又、射、ヲ、
繰、返、シ、敵、機、砲、彈、雨、下、ヲ、當、地、ニ、迫、シ、戦、車、即、チ、全、機、擲、弾、筒、
ト、因、攻、メ、テ、及、撃、ヲ、シ、津、地、ヲ、固、守、ス。

南岸、敵、一、部、ハ、南、次、東、方、ニ、進、出、シ、東、海、岸、ヲ、城、山、方、面、ヲ、衝、カ、下、
リ、午、後、廿、山、東、北、方、ニ、進、出、シ、東、海、岸、地、ニ、戦、車、約、十、輛、ヲ、以、テ、攻、撃、シ、
東、山、同、岸、地、ヲ、守、備、シ、テ、中、隊、高、野、少、尉、ハ、一、小、隊、ヲ、以、テ、勇、戦、

圖要備配斗載
四ノ其

(四) 四月十九日



善防透敵切之入片御用難ナル其ノ津也ヲ能ク確保ス。

2933

(10) 四月十九日

(要圖 其、四参照)

敵ハ比、日早朝ヨリ再々増攻高地及三墓地陣地ニ対シテ砲撃ヲト
 戰車群ヲ以テ猛攻ヲ加ヘ來ル。第三中隊及第一中隊ハ連日奮
 戰ニ死傷續出、彈藥亦缺乏ス。至ル。平良中隊長ハ此日指揮
 現員ト其、會合ヲ遂行シテ戰闘ニ臨ミ慘烈ニ防禦戰闘
 ヲ繰返シ陣地ヲ死守シタルモ、敵ハ野砲ヲ發射シ平良中尉
 以下將兵ノ多数ハ戦死シ、一〇〇〇噸ハ遂ニ敵戰車群ハ學校高地ニ
 ニ進出スルニ到ル。

独逸隊長 諸江大尉ハ自ラ部下ヲ率テ學校高地北側ハ至ルニ進出
 第一中隊ヲ掩護シ、彈藥亦銃並ニ手榴彈ヲ以テ高地上ノ敵ヲ撃
 退シ、高地ヲ奪回ニ成功ス。敵ハ再々高地ヲ奪取ラ企圖シ、高地東端
 道路ヨリ七戰車進出シ來ル。

命ヨリ永徳少尉指揮、大隊予備隊及三生森少尉指揮、大隊
 本部員並ニ馳進シ來タル目打部隊、特兵ハ學校高地敵投ニ出
 動シ、激闘ハ三三〇〇ニ到ル迄繼續セラレ、高地ヲ我軍方ニ確保ス。

此日午後、城山東北方ヨリ敵戰車十數輛ハ步兵ヲ伴ヒ東北側中隊
 獨逸陣地正面ニ來襲ス。我軍各隊ハ既設陣地ニ據リテ之ヲ及撃テス

(山) 四月二十日 (要圖其ノ五參照)

四月二十日以後

敵ハ朝來砲撃ト戦車ヲ以テ總力ヲ與テ高地、墓地、陣地、城山、陣地ニ猛攻ヲ加ヘ来タル。

昨夜命令ニ依リ、部隊ハ四方ヲ對シテハ一部ノ兵クノミテ残シテ、西方ノ警備ヲ任ジ、他ハ全力ヲ以テ、高地及東方ノ敵ヲ及撃スルニ決ス。

野砲一門、連射砲一部ハ陣地ヲ轉換シテ、同方面ノ敵指内ナル。

我ガ部隊は、状況ニ依リテ、苦戦言語ニ絶シテ、午前中既ニ敵ハ角ニ高地ニ進出シテ、砲撃車ハ放列ヲ敷キ、一部ハ高地北側ニ進出シ来ル。

午後、至リテ敵ハ更ニ城西方面ヨリ戦車ヲ以テ攻撃シ来タルニテ、敵ハ予ニ中隊(車中尉指揮)及ビ独逸、独機、各隊ハ陣地ヨリ防戦ス。

更ニ城西方面ヨリ敵戦車群ノ猛攻ヲ受クルニ列ル。

此日ノ激戦ニ於テ予ニ中隊長大尉、中尉ハ中隊長正副、奮戦ニ敵死シ、高野少尉(中隊)山下少尉(独逸)向山准尉(独逸)ハ戦死シ、見島少尉

(中隊)ハ重傷ヲ受テ、爾後、特攻下士官兵次々ニ傷付テ敵死シテ、

我軍血泥、苦戦、少くも漸く暮レリ。敵ハ戦車群、銃塔ハ此時
既ニ伊江島最後ノ陣也。在城山後部陣也ヲ包圍シテリ。

7. 九。砲城山、戦闘指揮所ヲ

敵工陸以テ五日間、我が特兵ハ優秀ノ装備ヲ誇ルル十倍ニ餘ル
敵軍ヲ邀ヘテ連日連夜勇戦奮闘、敵ニ多大ノ損害ヲ與ヘタルニ
我ニ亦特兵相法ヲ用テ敵死シ、彈藥ハ缺乏ヲ告ケルニ到レリ。
茲ニ於テ我ハ残存セシ全兵カラ以テ今夜半ヲ期シ敵ニ最後ノ銃
ヲ加ントス。

百ノ命令ガ傳ヘラル。

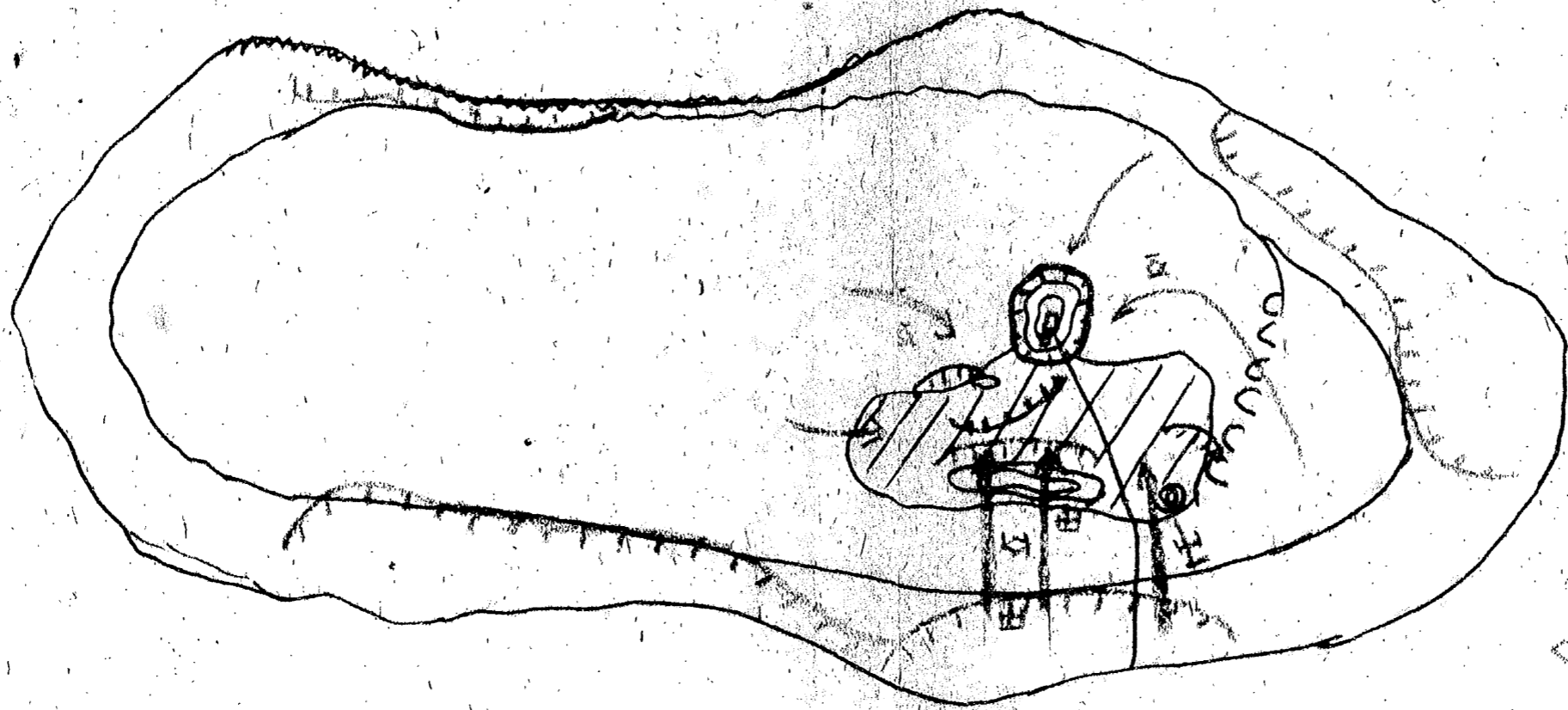
8. 連日ノ損害ニヨリ此ノ突撃ヲ加ハリ得タル者ハ將校約十名、兵約百
數十名ト推算セリ。狭小ナル地域ニ集中スル砲彈、多ク行動ハ阻害セ
ル。出撃シタルハ四月二十一日、二、三。頃ナリキ

井川部隊隊長、諸江大尉、率ヤル主力ニ敵ハ學校高地方面ニ向
ヒ、草叢中尉以下、一隊ハ飛行場方面へ出撃ス。

9. 此時城山ヲ包圍スル敵、戦車群、ヨリスル戦車砲、機銃、彈雨
ハ猛烈ヲ極、此ノ陣雨中ニ在リテ第一中隊長若岡中尉以下
多數ノ特兵ハ被災シ、井川部隊隊長モ亦學校高地方面ニ於テ
壯烈ナル戦死ヲ遂ゲ

八新ノ指揮官ヲ失ニ戦友ト別レテ極小數ノ兵ハ數人宛成
各相ニ潜在シテ遊學ヲ成リ行レシ終戦ニ至ル

2937



四月二十日夕刻
戦中配備要圖
其五
於此

2938

雜

1. 防衛隊長儀保中尉ハ四月十九日頃「ミジヤ」ノ壕内ニ於テ自決ス以後
防衛隊ハ解體状態トナリ、各個ニ逃散シテ戦ヲ行フ。

2. 田村飛行場大隊長ハ四月十六日夜脱出シテ四月十八日井川部隊
戦鬪指揮所ニ集テリ。後退シテ東ル同部隊隊長ヲ指揮ス。

3. 米誌「イェジマ・デイリー・ニュース」九月三日号ヨリ

伊江島ハ碎クニ難イ果實デアッタ。琉球列島ニ聞スル戦況報告ハ

沖縄至島ニシテ果實デアッタ。伊江島攻陥ハソノ困難ニ於テ他ノ

島即チ「カヤレン」島及「祝島」島ニ於テ先立テ戦斗ト類シ

スルモノデアッタ。第七十七師團ハ五日間ニ亙ル強イ戦斗ノ後伊

江島ヲ攻陥シタ。伊江島ハ日本本土迄攻ノ路ヲ拓ク意味於テ

重要デアッタ。伊江島占領ニ於テ先最大困難ハ伊江城山ノ制圧デアッタ

報告者ハ此ノ山ヲ地獄ノ山ト叫ビタ。此山ハ海拔六二呎、コンクリートヲ

以テ築クテ、背後ニ背後ニ壕（テ）三群ノ「ト」カガ、防圍ミ入山ガ砲座

ト更テ見テヤタ。入山ガ地下墜道ヨリ連絡ケテ、堅固ヲ要塞ヲ

形成シ、此処ニ至テハ日本兵ガ壕ツキナク

A. D. グルース少将、第七十七師團ハ後敵ヲ日本軍ト相討

シ、日本軍ハアラユル物ヲ焚燒シテ隠蔽シ、我々ノ接近ヲ取ラントス

終等八島、西郡に於てハワカト弱イ抵抗ヲ示シテ我々西海岸
ヲ突破シテ伊江城山周ニ備ヘラセテ敵ノ牙城ハ嵐ノ如ク突進シテ然
シテ十七師團ハ盲目的ナ無理ナ夜襲ヲハシテカク名彼等八島ヲ
上陸シテテ朝飛行場ヲ攻略シテ注意深ク進ミテソノ日ノ午後ニ
城山ノ敵ノ虎穴ハ進ミテカクテ瞬時ニシテ血ミドロノ開キガ崩
カセテ日本軍ハソノ既設陣地ヨリ十七師團ノ喉元ヲ見下シテ彈雨
ヲ注ギテ然シテ亦テ日本軍ハ九令ノ武器彈藥ヲ貯ツテ中サカシテ
西四月二十一日我々伊江島ヲ占領シテ然シテガラソク終結シテ
テハナシ今敵的ナ遊撃ヲ戦ハ其後之續イテ七月三日迄延續ス

2 Bm /
20

2941